

## 三渡川水系と笹笛川水系で確認された魚類一覧（平成20年度調査）

生活型	種名	重要種		外来生物法	調査地点			
		環境省	三重県		三渡川 下流域	堀坂川 中流域	百々川 下流域	笹笛川 中流域
汽水・海水魚	クルマサヨリ	NT						
	テングヨウジ							
	スズキ							
	シマイサキ							
	チダイ							
	ボラ							
	ウロハゼ							
	マハゼ							
	アシシロハゼ		EN					
	ヒメハゼ							
アベハゼ								
回遊魚	ウナギ	DD						
	カマキリ	VU	VU					
	スミウキゴリ							
	ウキゴリ							
	ビリンゴ							
	ゴクラクハゼ							
	シマヨシノボリ							
	ヌマチチブ							
	チチブ							
	コイ							
純淡水魚	ギンブナ							
	ヤリタナゴ	NT	VU					
	カネヒラ		EN			非公表		
	タイリクバラタナゴ			要注意				
	オイカワ							
	ヌマムツ							
	カワヒガイ	NT	EN					
	タモロコ							
	カマツカ							
	ニゴイ属の一種							
	コウライモロコ							
	シマドジョウ							
	ナマズ							
	カダヤシ			特定				
	メダカ	VU	NT					
ブルーギル			特定					
オクチバス(ブラックバス)			特定					
カワヨシノボリ								
カムルチー			要注意					

●重要種の指定状況

環境省：レッドリスト汽水・淡水魚類(2007年)

三重県：三重県レッドデータブック 2005 動物

●指定区分

EN: 絶滅危惧 I B類 NT: 準絶滅危惧

VU: 絶滅危惧 II類 DD: 情報不足

●外来生物法(特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律)の選定基準

特定：外来生物法により特定外来生物に指定されている種

要注意：外来生物法により要注意外来生物に指定されている種

三重県 松阪建設事務所 事業推進室 流域課



〒515-0011 松阪市高町138三重県松阪庁舎5階  
TEL:0598-50-0582(代表) FAX:0598-50-0624  
e-mail:mkenet@pref.mie.jp

## 三渡川水系と笹笛川水系 身近な生き物ガイドブック 【魚編】



三重県松阪建設事務所

## 三渡川水系と笹笛川水系の概況

三渡川は、松阪市小阿坂町を水源とし、松阪市を通過して伊勢湾に流れる流路延長約21.1km、流域面積約54.3km<sup>2</sup>の二級河川です。

笹笛川は、多気郡明和町の丘陵地を水源とし、国の天然記念物にも指定されている「斎宮のハナショウブ群落」のすぐ横を流れて伊勢湾に流れる流路延長約11.2km、流路面積約12.9km<sup>2</sup>の二級河川です。

上流域は、針葉樹の植林が広がる山間部、中下流域は水田地帯を通り、河口部には干潟が形成されるなど、両河川の流域は豊かな自然環境に恵まれています。

## 河川水辺の国勢調査ってなに？

松阪建設事務所では、三渡川水系・笹笛川水系に生息する生き物を調べる「河川水辺の国勢調査」を実施しています。これまで三渡川水系・笹笛川水系では3回の魚類調査を実施しており、平成20年度においては合計40種の魚が確認されました。このなかにはメダカなど近年生息数が減少している貴重な魚が含まれている一方、カダヤシやブルーギルなど問題となっている外来種も確認されています。これからも生き物が住める川の環境をみんなで協力して守っていきましょう。

## 三渡川水系と笹笛川水系で確認された魚

<p>ウナギ</p>  <p>重要種</p> <p>日中は石垣、穴の中などに潜んで、夜間に小型の魚類やカエル類を食べる。</p>	<p>ヤリタナゴ</p>  <p>重要種</p> <p>タナゴの仲間の中では細長く、ヤリの先のように見えるのでこの名前がついた。</p>	<p>メダカ</p>  <p>重要種</p> <p>昔から日本人になじみが深い。岸边近くの浅いところを群で泳いでいることが多い。</p>
<p>カマキリ</p>  <p>重要種</p> <p>石のようにじっとして、アユやヨシノボリなどの小魚を待ちぶせて食べる。</p>	<p>シマドジョウ</p>  <p>外来種</p> <p>ドジョウの仲間、体側中央の斑紋は写真のように点列(シマ)のものが多。</p>	<p>カダヤシ</p>  <p>外来種</p> <p>北アメリカ原産。姿が似ているメダカを攻撃したり卵を食べたりすると言われている。</p>
<p>ブルーギル</p>  <p>外来種</p> <p>北アメリカ原産。雑食性で繁殖力が強い。日本の生態系への影響が問題になっている。</p>	<p>オオクチバス(ブラックバス)</p>  <p>外来種</p> <p>北アメリカ原産。大きく開く口で、魚類や甲殻類などを食べる。日本の生態系への影響が問題になっている。</p>	<p>カムルチー</p>  <p>外来種</p> <p>東アジア原産。体は細長く、頭はヘビのようである。魚類やカエル類を食べる。</p>

## 三渡川水系と笹笛川水系の河川環境



淡水と海水とが混じり合う「汽水域」と呼ばれる場所では、純淡水魚(川の魚)と汽水・海水魚(海の魚)、回遊魚(海と川を行き来する魚)がみられました。特にハゼ科の仲間(マハゼ、チチブなど)が多くみついています。



三渡川下流域と同じく、純淡水魚、汽水・海水魚、回遊魚がみられました。日本にもともと住んでいた魚(ウナギ、ギンブナなど)に混じてカダヤシやブルーギル、オオクチバス(ブラックバス)といった外来種も確認されました。



コイやナマズといった純淡水魚が多くみられました。また、川をのぼる、ゴクラクハゼやシマヨシノボリといった回遊魚もみつかりました。



オイカワやタモロコといった純淡水魚が多くみられました。また、川の底が砂になっている場所では、シマドジョウやカマツカといった砂底を好む魚がみつかりました。

